

修学旅行 in 沖縄

3泊4日の沖縄の旅。長いようで短いひと時でしたが、たくさんのことを学び、たくさん笑って楽しみ、とても思い出に残る濃い修学旅行になったのではないのでしょうか。ここでは、そんな思い出に写真を添えて振り返ってきたいと思います。

JO

兵庫県立姫路別所高等学校
47回生 学年通信
修学旅行特別号
令和4年11月29日発行

JO

～ Day 1・Part 1 @平和祈念公園・ガマ体験 ～

◁ 飛行機初体験の生徒も多く、離陸の瞬間には歓声（悲鳴？）も上がりました。



△ 朝も早かったため、約2時間半のフライト中はお昼寝タイム・・・。



修学旅行の目的のひとつでもある「戦争の歴史に触れることで平和の貴さを知る」為に、まず、沖縄平和祈念資料館を訪れました。資料館の中には、目を背けたくくなるような資料が残されており、沖縄戦の残酷さを目の当たりにしました。▽



山城本部壕。
沖縄陸軍病院本部として利用されていた ▷

△ ついに沖縄に上陸！
こちらと比べて気温は高く、半袖でも、動けば少し汗をかくくらいでした。

◁ 関西空港での1コマ。
引率として来てくださった校長先生とパシャリ。

各クラスに分かれてガマ体験を行いました。想像を絶する暗さの中、当時の方はどんな思いで過ごしていたのか。安易に想像できるものではありません。



「平和の火」が灯る平和の広場では、黙とうを捧げました。▽



初日のホテルは、米国の統治時代に建設が開始された建物（本館）を利用して建てられたホテルである。▽



小高い所にあったため、ホテルのテラスからは街を見下ろすことができました。

～ Day 1・Part 2 @ホテル ～



夕食はホテルでバイキングでした。沖縄名物の「ゴーヤチャンプルー」もありましたが、1番人気は「揚げ餃子」でした。▽



～レクレーション～

1日目の夕食後はレクレーションを行いました。出し物は全部で4つと盛りだくさんでしたが、どれも無事大盛り上がりになりました！

①表彰式

修学旅行前から募集していた様々な項目での表彰を行いました。



一、しおりイラストの部

- 最優秀賞 表紙：橋本 華 (2組)
- 優秀賞 裏表紙：濱口 葵 (2組)
- 優秀賞 挿絵：松本 あずさ (3組)

一、修学旅行直前短歌の部 ※最優秀賞は「学年通信 第18号」に掲載しています。

- 優秀賞 清水 樹 (1組) 「沖縄で 思い出作る 友達と マリンブルーに 透ける沖縄」
- 優秀賞 蒲池 結萌 (2組) 「わくわくだ ときどきしてる わくわくだ もうすぐくるよ 初の沖縄」
- 特別賞 岸田 拓磨 (1組) 「楽しみだ 持って行くもの 選ぶのは 忘れてないよ 行く目的も」

②じゃんけん大会

学校の食堂券を賭けて勝負を行いました。1人1枚(20円分)のチケットを持ち、負けたら勝った人に託していくというルールのもと、優勝者を決定しました。



じゃんけん最強者は、松崎 司(1組)君となりました。ちなみに、じゃんけん負け続け、最弱となったしまったのは、濱口 葵(2組)さんでした。

③ビンゴ大会



校長先生が自前の三線で、誰もが知る名曲「涙そうそう」と、沖縄民謡のひとつ「ていんさぐぬ花」の2曲を披露してくださいました。演奏を聞いていた生徒達からは、自然と歌声が聞こえてきました。

④校長先生三線 LIVE



ささやかな景品でしたが、楽しんでもらえてよかったです。

一、ユニークな漢字の部 最優秀賞

葦

橋本 美優 (3組)
よみ
「べにいもたると」

～Day2 @美ら海水族館・ブセナ海中公園・ナゴパイナップルパーク～

沖縄の特産品であるパイナップルを満喫できる「ナゴパイナップルパーク」。みんなでパイナップルサングラスを身に着けて、身も心もパイナップルな気分・・・ ▽



△ 沖縄の人気観光名所のひとつ「美ら海水族館」。世界最大級の水槽に泳ぐジンバイザメは雄大で迫力満点でした。

ジンバイザメを上からとらえた1枚。▷ 大水槽の裏側をノゾキミ・・・。



沖縄の海中を体験できる「ブセナ海中公園」。△ エメラルドグリーンに光る海は、雨であれ、とてもきれいで幻想的でした。

◁ 広いパーク内は「パイナップル号」で散策。パイナップル畑では、まだ小さく愛らしいパイナップルも見ることができました。



◁ 美ら海水族館のお土産コーナーでは、レジに並ぶ生徒の姿がたくさん見受けられました。思い出にぬいぐるみを購入した生徒も多かったようです。



△ お昼ごはんはホテルのバイキング。彩り豊かな料理の数々が並んでおり、思わず次々と手を伸ばしてしまうのか、生徒たちのテーブルはどれも沢山のお皿に料理が盛られていました。デザートにはブルーシールアイスが食べ
◁ 放題で、9つ食べたという強者も・・・



「ブセナ海中公園」で乗ることができる「グラスポート」△ ポートの底がガラスになっており、中を覗けばそこには手が届きそうな距離にきれいな魚たちが。生徒たちもあまりの近さに思わず手を伸ばしていました。

◁ 「海中展望塔」では、360度、パノラマの海中世界が広がっており、ここでも小窓からたくさん色鮮やかなお魚たちを堪能できました。

～ Day3・Part I @マリン体験 ～

沖縄といえば海！！3日目の午前には待ちに待ったマリン体験。
「バナナボート」「シュノーケリング」「自由遊泳」をクラスごとにローテーションして行いました。あいにくの雨だったため、なかなかはじめは気乗りしない生徒もいましたが、いざ海へ飛び込むと、はじけんばかりの笑顔があふれていました。



マリン体験が見学となった生徒は、海岸でとれた貝殻や砂などを用いて、オリジナルの写真立てを制作しました。それぞれの個性がでた仕上がりになりました。



～ Day3・Part2@むら咲むら ～

3日目の午後は、沖縄の文化を体験できる「むら咲むら」へ。それぞれ自分が選んだ沖縄の文化を体験し、技を習得したり、作品を作ることができました。

①シーサーづくり体験



シーサーの土台に、それぞれ自由に色とりどりの装飾を施しました。それぞれの表情があり、とても可愛いシーサーが完成しました。



④沖縄空手体験



沖縄空手では「サンチン」という基本の型を学びました。1時間ほどの稽古でしたが、4人とも、少しですが身も心もたくましくなりました。



②島ぞうり彫り体験



カッターなどを使用して、島ぞうりに思い思いに模様を刻んでいき、オンリーワンのMy島ぞうりを完成させました。



⑤海の時計製作体験



浜辺の貝殻やシーグラスなどを使って、時計を製作しました。海が感じられる時計たちは、各家庭で素敵な時間を刻んでくれることでしょう。



③三線体験



全員が初めて三線を触ったのですが、1時間後には「きらきら星」が演奏できるほどに上達しました。



⑥海のランプ製作体験



丹精込めて作ったランプは、それぞれの日常にあたたかな光を灯してくれることでしょう。



～ Day4@タクシー班研修 ～

最終日はタクシー班研修！各班に分かれ、事前に決めたコースを散策しました。



「万座毛」▷

琉球石炭岩からなる断崖から眺めるエメラルドグリーン
の海は圧巻でした。

◁ 「古宇利大橋」
全長 1960mにもなる橋を渡っている間、両サ
イドに広がる海はとても綺麗でした。



◁ 「森のガラス館」でのガラス作り体験。
ガラスの成形は温かいうちが勝負なので、手
伝っていただきながらあっという間にガラスが
完成しました。▽



◁ 「国際通り」では、両手にたくさんのお土産を
提げた姿が見られました。それぞれが▽
相手を想って選んだお土産は、とても喜ば
れることでしょう。



3拍4日の旅もいよいよ終了。
疲れがきたのか、行きと比べて帰りは
静かだったように感じました。
たくさんの思い出とお土産を両手に、
無事に姫路へと帰ってきました。▽



創作短歌～修学旅行を終えて編～

修学旅行を終えて、感じたこと・思ったことなどを題に短歌を創作しました。
その中から、いくつか紹介していきます。※最優秀賞は「学年通信 第18号」に掲載しています。

【優秀賞】

大森 麗央 (2組) 「クーポンで おみやげいっぱい おきなわの ふんいきつめて ぶじにとうちやく」

製作意図：全国旅行支援のクーポン9000円分を有難く使って、お土産をたくさん買ったことに感謝。

西村 愛咲 (1組) 「修学旅行 みんなで過ごし 波の音と 心温まる 感謝の4日間」

製作意図：色々な人の温かさが心にひびく4日間でした。



【特別賞】

松浦 文達 (1組)

「沖縄が 紡いできた 絶景を
忘れぬと 誓いしときかな」

山口 楓楽 (1組)

「おみやげを ぼつりとながめ おもいだす
ゆめみごちの うみをみたひを」

栗田 龍平 (1組)

「ケガのせい 楽しかったけど おやからは
どうだったのか しんぱいされた」

熊田 百花 (1組)

「いけめんな こうちょうせんせい さんしんで
きかせてくれた 沖縄メロディー」

山本 夢来 (2組)

「朝ごはん お昼ごはん 夜ごはん
おなかいっぱい しあわせだ」

籠谷 歩果 (2組)

「4日間 けれど一生 思い出す
沖縄の音 匂いすべてを」

上田 向菜夏 (2組)

「おきなわで たのしくうみを まんきつし
シーサーづくり がんばりました」

北風 美音 (2組)

「下みると いつもは見れない このけしき
心やすらぐ すきとおる水」

西尾 きらり (3組)

「沖縄の 国際通り 人いっぱい
お店のおばちゃん デンジャラス」

藤澤 誉斗 (3組)

「いつのまに たのしいじかん おわってる
きづいたらもう じもとのひめじ」

土田 流芥 (3組)

「もう終わり 楽しい時間は 超はやい
でも思い出は ずっと心に」

三井 大聖 (3組)

「ぜんいんで かえってきたぞ おきなわから
えがおとかんしゃ わすれないよと」

— おまけページ —

職員も楽しむときは思いきり楽しみました！そんなひと時をご覧ください・・・



△ 生徒指導部として引率して
くださった山崎先生

△ 養護教諭の中田先生（写真右）
も引率してくださいました。



▷ Tさん・Yくんの手によって、次々と
海へと連れていかれる男性職員たち。
(写真左から)
大久保T、北垣T、芝田T、上月T
そして校長先生

